

果樹輸出産地強化支援事業（農産園芸課） 18,680千円

【事業目的】

県内の果樹産地では、これまでにカンキツを中心に、カキやナシ等の輸出に取り組んでおり、その品質が評価され、輸出先からのニーズは高い。一方で、生産者の減少や気候変動の影響により、産地の生産基盤は脆弱化しつつあるため、スマート農業技術の導入や優良品種の新植・改植等による生産基盤の強化を支援し、輸出向け果実の生産拡大を図る。また、近年、カンキツの輸出において輸送中の腐敗・品質低下によるロスの発生が大きな問題となっていることから、原因分析及び対策の検証に取り組む。

【事業内容】

（1）果樹輸出産地強化支援事業 16,680千円（補助率：1／2以内）

1. 優良品種の新植・改植（補助額100万円以内）
果樹苗木の購入及びその育成に係る費用、新植・改植作業に必要な資材・機械の導入を支援（果樹経営等支援対策事業及び果樹先導的取組支援の対象となるものは除く。）
2. 高品質果実の生産・省力化に資するスマート農業技術の導入（補助額200万円以内）
マイクロスプリンクラー（かん水の目的を除く。）、気象観測装置（ウェザーステーション）、防除用ドローン、除草ロボット等
3. 果実品質の向上・生産量確保に資する機械・資材等の導入（補助額100万円以内）
液肥混入機と一体的なマルドリ栽培、防風ネット（4面を含む。）、農薬ドリフト防止ネット、採薬機・開薬機 等
4. 省力樹形の導入による労働生産性の高いモデル園地の実証（補助額300万円以内）
5. 産地の苗木供給体制モデルの実証（補助額300万円以内）
6. 産地の集荷・流通体制強化に資する機械・資材（予冷庫、断熱材、鮮度保持資材等）の導入（補助額200万円以内）



スマート技術農業を活用した日焼け果の軽減



省力樹形の導入による労働生産性の高いモデル園地の実証

（2）原因究明・課題解決事業 2,000千円

ロス発生の原因は栽培管理（肥料、気象条件）、輸送時の温度・湿度条件、収穫以降の取扱いで発生する傷など、多岐にわたることから、生産、収穫、選果こん包、流通の各段階で原因を調査するとともに、効果的な軽減策を検証する。



海外への輸送中に発生した腐敗果

【事業実施者】

- 1) 「果樹産地輸出計画」を作成し、承認された産地協議会の構成員である農業者、農業法人、農業協同組合
- 2) 三重県農業研究所

＜補助金の流れ＞

